

大切なのは 早期発見・早期治療

自覚症状の無いHIV感染を知る方法は血液検査です。早期に発見できればエイズの発症を抑えられ、ほかの人への感染も防ぐことができます。

HIV検査・エイズに関する相談は保健所などで無料・匿名で受けることができます。感染の疑いがあった日から体に抗体が作られるまで、3カ月程度かかるので、検査は感染の疑いがあった日から3カ月以降に行ってください。

相談は随時受付可能ですが、HIV検査は予約が必要です。

【最寄りの相談・検査機関】

長崎県県南保健所

☎0957-62-3289 (平日)

検査の流れ

感染の疑いがあった日

3カ月以降

【予約】 電話などで検査の予約

【検査】 問診・採血

約2~4週間後

【結果説明】 結果を聞きに行く
(検査時に渡される個人控えが必要)

※結果説明の手順が検査機関によって異なります。当日に検査結果が分かる「即日検査」を行っているところもあります。

こんなこと・こんな場所では感染しません！

HIVは体液内でしか生息できないウイルスなので、感染者と握手するなどの接触ではうつりません。また、唾液に含まれるHIVはごく微量のため、せきやくしゃみ、飲み物の回し飲みなどでも感染することはありません。

※血液がつきやすい歯ブラシ、カミソリ、ピアスなどは自分専用のものを使いましょう。

- 握手、軽いキス
- せき、くしゃみ、汗、涙
- 同じ皿から料理を食べる。
- 飲み物の回し飲み。
- つり革や手すり
- 洋式トイレの便座
- 風呂やプール
- 日本の医療機関、理髪店、美容院



性行為を除けば、ふだんの生活で感染することはありません。

4 「いきなりエイズ」が増加している

HIV感染者の約3割が、エイズを発症してからはじめてHIV感染に気付く「いきなりエイズ」です。新規HIV感染者は若い世代に多いですが、いきなりエイズは、40歳以上が約6割を占めます。

エイズを発症するまでHIV感染に気付いていないため、感染から発症までの期間に他者へ感染させてしまう危険性がある上、エイズを発症してしまうと治療が難しくなります。エイズは早期治療によって発症を抑えられる病気です。HIV検査を受け、陽性であれば適切な治療を受けることで発症を抑えられます。

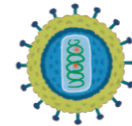
5 今は死の病ではない

HIVに感染しても、早期に感染を知り、服薬治療を開始して治療を継続すれば、エイズの発症を防いで、これまでと同じような生活を送ることができます。エイズを完治させる治療はありませんが、今では治療方法も進歩し、副作用も少なく1日1回1錠の服用ですむ薬も開発されています。

6 HIV以外の性感染症にも注意

性感染症にかかると粘膜が荒れてHIVの感染確率が高くなるといわれています。日本で最多の性感染症は性器クラミジア感染症ですが、近年、特に梅毒の感染者数が急増しています。コンドームの適切な使用、不特定多数の人と性行為をしないなど、正しい感染症予防が重要です。

1 HIV・エイズとは



HIVに感染しただけではエイズとはいいません。

- HIV…エイズを引き起こすウイルス
- エイズ…HIV感染により、体の免疫力が低下してかかる病気の総称

HIVが人に感染すると病原菌から体を守ってくれる「免疫」力が低下してしまいます。これにより、本来自分の力で抑えることができる病気を発症しやすくなります。

| HIVに感染 | 症状が無い期間(無症候性キャリア期) | エイズ発症 |
|------------------|--|---|
| 風邪に似た症状が出ることもある。 | 自覚症状は無いが、他者へ感染させる危険性がある。徐々に免疫が低下し、病気が進行する。 | 免疫力が下がり、健康であれば感染症を起こさない菌などによってさまざまな病気を発症する。 |

治療しない場合、HIV感染からエイズ発症まで平均数年~10年程度かかります

2 主な感染経路は「性行為」・「血液感染」・「母子感染」

日本での感染ルートは性行為が8割以上を占めています。

令和元年の統計「令和元年エイズ発生動向年報(厚生労働省エイズ動向委員会)」によると新規HIV感染および新規エイズ患者報告の感染経路で多いのは性行為で、80%強を占めています。注射器の共有などによる血液感染、出産時や授乳時に感染する母子感染は0.1~0.2%となっています。

性行為感染

感染者の精液や膣分泌液に含まれるHIVが性器や肛門、口などを通して感染。



血液感染

麻薬の回しうちなど、注射針を共有することで感染。
※日本の医療機関の注射器具は使い捨てなので心配ありません。

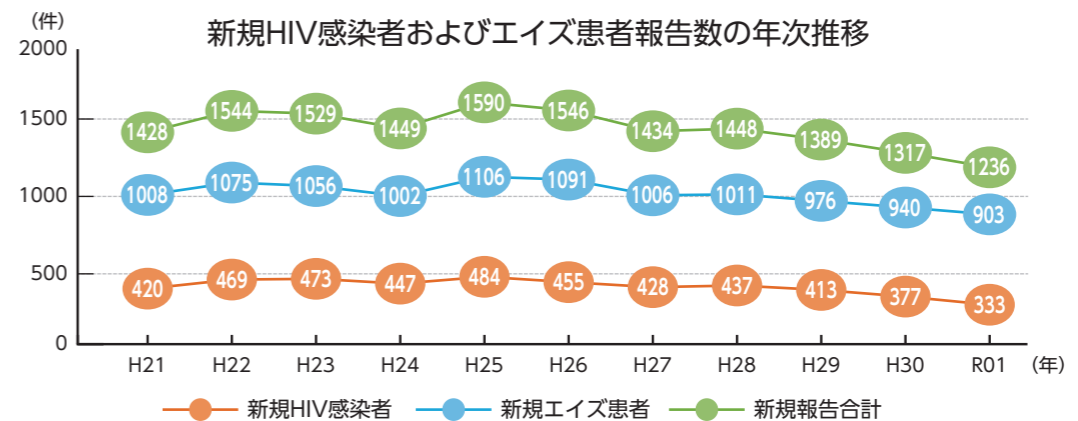


母子感染

HIVに感染している母親から妊娠中や出産時、授乳時に感染。



3 日本の新規HIV感染者・エイズ新規患者数の現状



令和元年は新規HIV感染者数および新規エイズ患者数が3年連続減少となりました。しかし、依然として感染が判明した時点で、すでに3割弱の人がエイズを発症している状態です。

知ってほしい!!

新しい知識へアップデート

HIV・エイズのこと

12月1日は世界エイズデーです

WHO(世界保健機関)は、エイズまん延防止とエイズ患者・感染者に対する差別・偏見を解消するために、毎年12月1日を世界エイズデーとしています。HIV・エイズに関する正しい知識や理解を持って感染を予防しましょう。